

(次世代計測加工技術者養成事業)

鍛造分野に有益な実験手法の基礎と 最新トライボCAE技術



～ 開催のご案内 ～



主 催：愛知県、愛知工研協会

鍛造とは、「工具、金型などを用いて固体材料の一部または全体を圧縮または打撃することによって成形及び鍛錬を行うこと（JIS）」と定義されています。6000年以上の歴史をもつ技術であり、ギアやホイール、タービンの主軸などモノづくりの現場で多く用いられています。近年では非調質鋼や非鉄金属への展開も進むとともにCAE技術の発展も著しく、今やCAE技術なしで型設計や工程設計は考えられない時代になりつつあります。技術者が蓄積してきた経験やカンコツ以外にもCAEなどのデジタル技術の活用は今後ますます重要になることでしょう。

本セミナーでは、鍛造における基礎を学びつつ、鍛造分野で用いられる実験手法について解説いただきます。基礎的な材料物性である変形抵抗やリング圧縮試験による摩擦係数測定など、CAE解析に有益な実験をはじめとし、モノづくりの技術力向上に繋がる手法をご紹介します。また、鍛造分野では難しいとされてきた摩擦・摩耗といったトライボロジーを活用したより高精度なCAE解析に繋がる技術についてもご紹介いただきます。

参加費は無料です。多くのみなさまの参加をお待ちしております。

【日 時】

2024年11月20日（水） 13時20分から16時15分まで（受付13時00分～）

【内 容】

13:30～15:00	「鍛造分野に有益な実験手法の基礎」 国立大学法人名古屋工業大学 名誉教授 北村 憲彦 氏 モノづくりにおいて重要な分野である塑性加工は、安定的に強靱な製品を高い生産効率で製造することが可能です。本講演では鍛造の基礎をわかりやすく解説するとともに、鍛造分野における実験手法（変形抵抗、摩擦係数など）について解説します。実験から得られる情報を基にモノづくり現場へフィードバックが可能な事例やCAE技術への応用について紹介します。
15:00～15:10	休憩
15:10～16:10	「鍛造におけるトライボCAE技術の最新研究動向」 国立大学法人名古屋工業大学 准教授 前川 寛 氏 摩擦・摩耗・潤滑を取り扱うトライボロジーは、歯車や軸受などの機械要素設計に加えて、塑性加工や切削加工などのモノづくり現場においても重要な学術分野です。本講演では塑性加工におけるトライボロジー分野での最近の研究動向や、近年様々な分野でその活用が急務となっているCAE技術に関して紹介します。
16:10～16:15	産業技術センターの各種評価機器の紹介

【対象者】

モノづくりやCAEに関心のある方であれば、どなたでも参加できます。

【定 員】

オンライン：50名（申込先着順）

オンラインは「Microsoft Teams」
によるライブ配信となります**【参加費】**

無 料

■申込方法

①Web ページからの申込み

<https://www.aichi-inst.jp/sangyou/other/seminar/> にアクセスいただき、
該当の「鍛造分野に有益な実験手法の基礎と最新トライボ CAE 技術」の申込
フォームに従って御記入ください。



Web 申込み

②E-mail 又は FAX での申込み

E-mail：件名を「鍛造分野に有益な実験手法の基礎と最新トライボ CAE 技術」とし、下記の申込書の項
目を本文にご記入もしくは申込書をメールに添付の上、お送りください。

FAX：下記の申込書にご記入の上、お送りください。

※上記にて申込後、申込確認の連絡がない場合は、恐れ入りますが、下記「申込み及び問合せ先」まで
御連絡ください。なお、参加 URL は申込期限後に別途メールします。

■申込期限 2024年11月18日（月） 午後5時**■申込み及び問合せ先**

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター

金属材料室 永縄、津本、吉元

電話：0566-45-5644 FAX：0566-22-8033

E-mail：2024kinzoku@aichi-inst.jp**「鍛造分野に有益な実験手法の基礎と最新トライボ CAE 技術」参加申込書**

年 月 日

あいち産業科学技術総合センター産業技術センター金属材料室 永縄、津本、吉元 宛

FAX：0566-22-8033 E-mail：2024kinzoku@aichi-inst.jp

企 業 名			
所 在 地	〒		
所属・氏名			
連 絡 先	TEL：	FAX：	
	E-mail：		
センターニュース配信		☐ 希望する	

☆ご記入いただいた情報を元に、当センター及び愛知工研協会のセミナーなどのご案内をさせていただくことがあります。

☆あいち産業科学技術総合センターでは、各種イベントや技術情報をセンターニュース（メルマガ）として配信しています。